※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	（学）理数生物特論	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　生物　（第一学習社）						
副教材等	スクエア最新図説 生物（第一学習社）、セミナーノート 生物（第一学習社）、リードα 生物基礎＋生物（数研出版）、チェック＆演習 生物（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業のスピードは速い。授業中は教科書、図説などを広げて講義を聴き、どんなことも聴きもらさないという気概をもって臨んでほしい。また、生物学はいろいろな知識を必要とするので、ふだんから新聞や雑誌、図書などを積極的に読み、最新のニュースをどんどん取り入れる努力が必要である。

授業の受け方

１．講義

ア．授業中は教科書、資料集の該当ページを広げ、本文や図を見ながら話を聞く。

イ．ノートを要領よくとるとともに、教科書、資料集に線を引く、印をつけるという心がけが大切。

ウ．わからないことが出てくれば積極的に先生に質問して解決しよう。授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中に理解するようにしよう。

２．演習

ア．家で問題を解いてくる。次の授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中にわかるようにしよう。

イ．自分の解答と比べながら解説を聞く。自分が解けていても誤った考え方をしている場合もあるのでしっかり聞こう。

2　学習の到達目標

細胞、個体、群集など、各レベルでのさまざまな生命現象を知り、その現象を説明する原理を見出そうとするのが生物学を学ぶ態度である。生命の特徴の一つである恒常性の維持のしくみ、生物が集団となった群集に見られる生命現象、細胞内のさまざまな構造、物質の働きを理解し、科学的な自然観を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見いだし､探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに､それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物･現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間まで	生物の進化と系統、生命現象と物質	生物の進化 生物の系統 細胞と分子 代謝	a:細胞と進化にかかわる様々な概念を理解している。 b:細胞や進化について考察し、表現できる。 c:生命現象と物質について関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
前期期末まで	遺伝情報の発現と発生	遺伝子とその発現 遺伝子の発現調節と発生 遺伝子を扱う技術とその応用	a:遺伝子に関する様々な概念を理解している。 b:遺伝子について考察し、表現できる。 c:遺伝子とその発現について関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
後期中間まで	生命の環境応答、生態と環境	動物の反応と行動 植物の成長と環境応答 生態系のしくみと人間の関わり	a:環境応答や生態系について理解し、応用することができる。 b:環境応答や生態系のしくみについて考察し、表現できる。 c:動物や植物の反応や生態系のしくみについて関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
後期期末まで		問題演習	a:生物分野において、分野間を関連付けることができるよう、総合的な知識の習得できている。 b:生物の様々な問題を考察し、表現できる。 c:生物について関心を持ち生活に関連付けて取り組もうとしている。	考査	考査	課題レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度